

<徳川の平和>を考える

—萌芽・維持・消滅—

2019/02/09

土曜日：13:15 - 18:00

場所：香川大学幸町北キャンパス

プログラム

12:30 開場

13:15-13:20：

開会の辞：

寺尾徹（香川大学・アイセッツ）

13:20-13:30

趣旨説明：

村山聡（香川大学・アイセッツ）

13:30-14:10：萌芽

守田逸人（香川大学）

「中近世移行期における讃岐の社会編成」

14:10-14:50：維持

御厨義道（香川県立ミュージアム）

「高松藩の藩政改革—幕藩体制維持と変容」

14:50-15:00（休憩）

15:00-15:40：消滅

村山 聡（香川大学）

「開港がもたらした地域把握の変容—なぜ戦争の世紀へ突入したのか」

15:40-16:25

ディスカッションによる討議：

<高松城の「近代」>野村美紀（香川県立ミュージアム・日本近代史）

<フランス哲学から見た「近代」>三宅岳史（香川大学・フランス近現代哲学）

<「近代化」と「日本の特殊性」>武重雅文（香川大学名誉教授・政治学）

16:25-16:45（休憩）

16:45-17:45

総合討論

17:45-18:00

閉会の辞：

木原溥幸（香川大学名誉教授）

13:15-18:00（シンポジウム 参加費無料）

18:00-19:30（交流会 会費 500円）

場所：香川大学幸町北キャンパス 研究交流棟5階 研究者交流スペース

主催：香川大学地球ディベロプメントサイエンス国際コンソーシアム(ICEDS=アイセッツ)

共催：香川歴史学会

後援：WHB(世界の歴史と地理のリベラルアーツ)の会、九大OB会、安非法制に反対する有志の会